

地区防災訓練助成金について

内容

(1)概要

地区自主防災会連絡協議会が、地区内の住民を対象に防災訓練等を実施した場合、訓練の実施及び防災資機材の整備にかかる経費の一部を予算の範囲内で助成します。

※訓練を実施することが助成要件となります。訓練を実施しなければ防災備品の整備に要する経費の助成はありません。

(2)訓練内容

実働を伴う訓練が対象となります。

※訓練の実施にあたっては、避難行動要支援者の方など地域の様々な方が参加していただけるように努めてください。

- | | | |
|-------------------------|----------|-------------|
| ① 避難所開設訓練(HUGを含む) | ② 避難訓練 | ③ 救急講習 |
| ④ 消火器訓練 | ⑤ 消火栓訓練 | ⑥ 情報収集・伝達訓練 |
| ⑦ 災害体験訓練(煙体験訓練、起震車体験訓練) | ⑧ 炊き出し訓練 | |
| ⑨ 鳥取市総合防災訓練 | ⑩ 国民保護訓練 | ⑪ その他 |

(3)助成額等

- ①補助率 「防災訓練の実施及び防災資機材の整備に要する経費」 10/10
- ②限度額 防災訓練1回につき、上限 150,000 円
※1,000 円未満の端数があるときは、これを切り捨てます。
- ③助成額 基準額(100,000 円)と参加者数に応じた額(下記の表参照)とを合算した額、又は実際に訓練で使用した経費の少ない方の額

【参加者加算額】

参加人数	金額
15人～29人	20,000
30人～59人まで	30,000
60人～89人まで	40,000
90人以上	50,000

例1 A 地区自主防災会連絡協議会が120人参加の避難所開設訓練を実施した場合

(a)上限額:基準額 100,000 円+参加数加算 50,000 円=150,000 円

(b)防災訓練の実施及び防災資機材の整備に要する経費:213,500 円

助成額は(a)と(b)の少ない方で 150,000 円となります。(上限額まで)

例2 B 地区自主防災会連絡協議会が15人参加の炊き出し訓練を実施した場合

(a)上限額:基準額 100,000 円+参加数加算 20,000 円=120,000 円

(b)防災訓練の実施及び防災資機材の整備に要する経費:30,820 円

助成額は(a)と(b)の少ない方かつ 1,000 円未満の端数切捨てにより、30,000 円となります。

④回 数 1 自主防災会連絡協議会あたり、年1回限り

⑤経費対象となるもの:訓練実施するために必要な経費と地区で必要な防災資機材

項目	品名(例)
全訓練共通	文房具、資料印刷費、ビブス、軍手、皮手袋、ヘルメット、カラーコーン、コードリール、マスク、アルコール消毒液、切手・ハガキ等郵送料、クリーニング代、講師・参加者用お茶、講師謝礼、イベント保険料、会場借上料、器具借上料、各種機材レンタル料等
避難所開設訓練	段ボールベッド、簡易ベッド、マット、パーテーション、毛布、発電機、投光器、ライト、ランタン、簡易トイレ、テント、リアカー、車いす、担架、運搬車、毛布、寝袋、ブルーシート、救助工具セット等
炊き出し	炊き出し用食材、非常食(試食体験用)、大型かまど、大鍋、やかん、カセットコンロ、ガスボンベ、給水用ポリタンク、使い捨て食器等
情報伝達	トランシーバー、拡声器、メガホン、無線機、ラジオ、ハンドマイク、ポータブルスピーカーセット等
救急講習	AED、心肺蘇生用訓練人形、救急医療セット等
消火訓練	訓練用消火器、標的、消火用バケツ、消防用ホース、消火栓開閉器具等
備蓄用品	防災倉庫、ポータブル電源、ブルーバーナー、カセットコンロ、備蓄用食料等